

議 事 録

会議等の名称	第1回 総合施策部門分科会	開催日時	令和5年7月3日(月) 午後2時30分～午後3時30分
		場 所	本庁舎2階 第3委員会室
主催者(事務局)	市民生活部 生活環境課 ゼロカーボン推進係	司会者	原田純平 (ゼロカーボン推進係主査)
出席者(敬称略)	別紙「出席者名簿」のとおり		
欠席者(敬称略)	別紙「出席者名簿」のとおり		
議 題	(議題) 意見交換 ・地域ポイントシステムについて ・地域エネルギー会社について	(配布資料)	
決定事項	なし		
確認・検討事項	・地域ポイントシステムの導入方法の検討 ・地域エネルギー会社の事業内容に関する検討		
次回への検討事項			
次回開催	(日時) 未定	(場所)	未定

討議内容及び経過	(発言者名)	
		【第1回 総合施策部門分科会】
1. 開会	原田主査	(開会)
2. あいさつ	会長	(あいさつ)
3. 意見交換	原田主査	(意見交換)
	会長	地域ポイントシステムについてだが、スマホを持っていない人は困るかもしれない。
	委員	紙と併用するのか、地域通貨まで進むのかは議論が必要と考える。
	委員	保守メンテナンスなども自分たちでやっていけるかも考えて取り組むべきである。
	委員	効果測定に関してはシステム化しておく必要がある。
	委員	地域通貨の良いところは、期限があってその地域のみでしか使用できないというところが良いところである。
	委員	地域通貨になると、ハードルも高くオペレーションも必要である。まずポイントから取り組んだ方がよいと考える。
	会長	次に地域エネルギー会社設立について議論したい。
	委員	リスクの大きいことをする会社を最初から目指すべきではない。
		大手電力会社などと共存して地元で継続していけるものを目指すべきである。
	委員	PPA会社など公募しても良いが地元で全て完結できるようなものを目指したほうがよい。
	委員	地域エネルギー会社を運営するためには、融資など金融機関の協力が必要不可欠である。
	委員	太陽光だと夜は発電しないため、不足分は相対で購入するようにしたほうがよい。
	委員	将来的には必要な再エネ電力をすべて市内で発電できるようにしたほうがよい。
3. その他		(なし)
4. 閉会	原田主査	(閉会)